

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公開番号】特開2000-169740(P2000-169740A)

【公開日】平成12年6月20日(2000.6.20)

【出願番号】特願平11-348690

【国際特許分類】

C 08 L 101/00	(2006.01)
C 08 K 5/01	(2006.01)
C 08 L 23/00	(2006.01)
C 08 L 25/10	(2006.01)
C 08 L 27/00	(2006.01)
C 08 L 33/00	(2006.01)
C 08 L 33/12	(2006.01)
C 08 L 55/02	(2006.01)
C 08 L 67/00	(2006.01)
C 08 L 69/00	(2006.01)
C 08 L 73/00	(2006.01)
C 08 L 91/06	(2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00
C 08 K 5/01
C 08 L 23/00
C 08 L 25/10
C 08 L 27/00
C 08 L 33/00
C 08 L 33/12
C 08 L 55/02
C 08 L 67/00
C 08 L 69/00
C 08 L 73/00
C 08 L 91/06

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月11日(2006.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】少なくとも1種の耐衝撃性改良剤および少なくとも1種の鉛油を含み、さらに0-50重量%の1またはそれ以上のプラスチック樹脂を含む耐衝撃性改良組成物。

【請求項2】鉛油と耐衝撃性改良剤との比が0.1:10ないし4:10の範囲である請求項1に記載の耐衝撃性改良組成物。

【請求項3】少なくとも1種の耐衝撃性改良剤が、メタクリル酸メチル/ブタジエン/スチレンベースコポリマーおよびアクリルベース耐衝撃性改良剤から選択される請求項1に記載の耐衝撃性改良組成物。

【請求項4】少なくとも1種の鉛油が、重鉛油および軽鉛油のうちの少なくとも1つか

ら選択される請求項 1 に記載の耐衝撃性改良組成物。

【請求項 5】 a ) 少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤；

b ) 少なくとも 1 種の鉛油； および

c ) 0 - 50 重量 % の 1 またはそれ以上のプラスチック樹脂を混合することを含んでなり、鉛油と耐衝撃性改良剤との比が 0.1 : 10 ないし 4 : 10 の範囲である請求項 1 に記載の耐衝撃性改良組成物の製造法。

【請求項 6】 少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤を、ラテックス、エマルジョンまたは乾燥粉末形態のいずれかで用いる請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】 1 またはそれ以上のプラスチック樹脂を請求項 1 に記載の耐衝撃性改良組成物と組み合わせることを含んでなる耐衝撃性改良プラスチック樹脂の調製法。

【請求項 8】 1 またはそれ以上のプラスチック樹脂が、1 またはそれ以上の、ポリハロゲン化ビニル；ポリアルキレンテレフタレートポリマー；ポリカーボネートポリマー；ポリアルキレンテレフタレート / ポリカーボネートポリマーブレンド；アクリロニトリル / ブタジエン / スチレンポリマー；ポリオレフィンポリマー；混合ポリオレフィンポリマーブレンド；およびポリケトンポリマーから選択される請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】 少なくとも 1 種の鉛油および少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤をプラスチック樹脂に添加することを含んでなり、少なくとも 1 種の鉛油をプラスチック樹脂の表面滑剤として、またはその一部として添加しない耐衝撃性改良プラスチック樹脂の調製法。

【請求項 10】 低減された溶融粘度を有する耐衝撃性改良プラスチック樹脂を製造するための請求項 9 に記載の方法の使用。

【請求項 11】 請求項 7 および 9 の方法により調製された耐衝撃性改良プラスチック樹脂から製造された製品。

【請求項 12】 a ) 1 またはそれ以上の第一のモノマーおよび開始剤を、任意に水性界面活性剤溶液中で混合し； b ) 得られた混合物を加熱してモノマーを重合させ；任意に、c ) 工程 b ) から得た重合生成物を 1 またはそれ以上の第二のモノマー、さらなる開始剤および界面活性剤と一緒にし、得られた混合物を加熱してラテックスを得； d ) 得られた耐衝撃性改良剤を単離する工程を用いて少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤を形成することを含み、少なくとも 1 種の油を、a ) 、 b ) 、 c ) および d ) の 1 またはそれ以上のいずれかの工程中で形成された反応混合物に添加する、少なくとも 1 種の油を少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤と組み合わせる方法。

【請求項 13】 少なくとも 1 種の油が、鉛油、5000 またはそれ以下の重量平均分子量 (MW) を有するポリマー； 12 個またはそれ以上の炭素原子を含有するアルキル基を有するアルキルアクリレート； 12 個またはそれ以上の炭素原子を有するカルボン酸またはアルコールを含有するエステル；植物油；海産物油；工業用油；バーム油および動物性脂肪から選択される請求項 12 に記載の方法。